

行田歴史系譜 344

資料がかたる 行田の歴史

44

このしし、おじし、それともめじし？ ～獅子頭の雌雄の話～



「諏訪神社の獅子頭」(郷土博物館寄託)

雌雄の区別は獅子頭の外見に表れており、その違いは地域によってさまざまです。例えば、下中条の獅子舞(須加)は3匹全てに2本の角がありますが、雄の角にはねじれがあり、雌の角にはありません。他にも角の本数や宝珠(頭の上に載せた珠)の有無、口ひげの有無など、さまざまな特徴から雌雄を判別することができます。

(郷土博物館 岡本夏実)

今回紹介する資料は、須加の諏訪神社に伝わった獅子頭です。3つの獅子頭が一揃いになったもので、顔は赤く塗られ、それぞれ2本の角が生えています。付属する衣装や太鼓、小道具も残っており、演じられていた当時の様相がうかがえる資料です。明治14年(1881)8月16日付けの文書によれば、諏訪神社の祭典で「龍頭舞」を行うことについて須加村から成田警察署へ届け出たとあります。「龍頭舞」は獅子舞と同様の芸能を指す言葉ですので、諏訪神社の獅子頭はこの「龍頭舞」に関わるものかもしれません。また、諏訪神社の獅子舞は戦前期まで演じられていたと伝わっています。

さて、諏訪神社の獅子頭も3つ一揃いであることから、三匹獅子舞として演じられていたと考えられます。3つの獅子頭は一見すると非常によく似ていますが、全く同じ形をしているわけではありません。眉の形に注目すると、3匹のうち2匹の獅子の眉は黒地に赤い線が入っており(画像上段)、渦巻きに曲線を重ねたような形をしています。残り1匹の眉は黒一色かつ渦巻き状です(画像下段)。また、黒一色の眉を持つ獅子は角が縦縞模様であるのに対し、他2匹の角はねじったような斜めの縞模様になっています。このことから、黒一色の眉と縦縞模様の角を持つ獅子は他2匹と異なる獅子、つまり雌獅子であると推測できる

はじめまして



令和4年1月生まれのお子さんを募集します

- 11月1日(火)～30日(水)に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
応募者多数の場合は、12月2日(金)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和3年11月生まれのおともだち



郷田 絃葉ちゃん(野)
令和3年11月28日生まれ
父・尚人さん 母・奈央さん
「すくすく元気に育ってね」



多田 陽奏ちゃん(荒木)
令和3年11月1日生まれ
父・知貴さん 母・遥さん
「いっぱい食べて大きくなってね♡」



中村 奏友ちゃん(白川戸)
令和3年11月15日生まれ
父・彰宏さん 母・未田希さん
「たくさん食べて、目指せ！178cm以上！」



大木 椰心ちゃん(藤原町)
令和3年11月29日生まれ
父・一紘さん 母・はづきさん
Happy 1st Birthday!
幸せをありがとう♡」



福島 璃汰ちゃん(谷郷)
令和3年11月18日生まれ
父・魁也さん 母・琴音さん
「毎日幸せをありがとう♡」



井上 璃人ちゃん(藤原町)
令和3年11月25日生まれ
父・留偉さん 母・千穂さん
「璃人誕生日おめでとう」

編集・発行／行田市総合政策部広報広聴課
〒361-1860 行田市本丸2番5号
TEL 556-1111 FAX 550-2116

今月の表紙

人生100年時代といわれる今日、世界的に見ても長寿大国である日本において働くことだけでなく、人生の充実を誰もが重視するようになりました。生涯学習により、趣味などを含め、自己を磨くことで、豊かな人生を送ることができるとされています。市内では、さまざまな活動の場があります。ぜひ、この機会にあなたも生涯学習を始めてみませんか。

ホームページ https://www.city.gyoda.lg.jp



行田市のマイナンバーカード交付率41.8% (10月1日現在)



詳細は総務部ホームページ



環境にやさしい 植物油インキ

市報ぎょうだは再生紙を使用しています